

令和6年度・西伊豆町子育て支援センター“たんぽぽ通信” 11月号



涼しい秋風に、高く澄んだ空！大きく深呼吸したくなるような気持ちの良い季節になりました。西伊豆町は自然豊かで素敵な町です。どんぐり、松ぼっくり、落ち葉拾いなど親子で小さい秋を探しながらのお散歩を楽しんでみてはどうですか？秋の自然にたくさん触れあってくださいね。



LINE 公式アカウント
西伊豆町子育て支援センター
「たんぽぽ」

公式アカウント、新しくなりました

仁科認定こども園 ☎0558-52-0583(呼)
52-1110(呼)
伊豆海認定こども園 ☎0558-53-0755(呼)
安里出張ひろば ☎0558-56-0211(教育委員会・呼)



10月17日(木)KAMO' nhouse にて『体を動かして遊ぼう！』のイベントを行いました。5組10名の参加がありました。親子でにこにこ笑顔で楽しんでいる姿はとても微笑ましかったです♡お友だちを「がんばれ～！」と応援する子どもたちの姿も可愛かったですね。西伊豆町の親子が集まり和気あいあいと楽しい時間を過ごせたことも嬉しく思いました。ご参加いただきありがとうございました。



子育てアドバイス⑧

巡回相談員 飯泉松文

知恵づき

乳児の関心は日々接している大人たちの姿や所作を絶えず観察している。やがて自分も周りの物や人も同じという感覚になってくる。視覚的に似ていることに気付くだけでなく、感覚を共有、情動を共有、感心を共有という共有体験の積み重ねが「同じ」という感覚の形成に大きく関わっていきます。自分も相手も「同じもの」という感覚の定着により相手の仕草を自分もなぞって同じ仕草をしようとする「模倣」があらわれる。いわゆる仕草を共有しているのです。約10～11ヶ月頃から始まります。例えば、いないいないばあ、おむつてんてん等は養育者との楽しみの遊びの中で養育者から子どもに示される仕草の模倣から始まります。その後は、遊びを離れ、ばいばい、ちょうだいなど社会的な意味を持った模倣ができるようになっていきます。模倣ができるようになると、例えば、スプーンはいじり回すだけでなく、大人がどのように扱うかを観察してまねてみると容易にわかる。これが「認識の発達」を加速していきます。ばいばい等の社会的なマナーも示されるようになり、どんなとき、どのようにふるまうかという大人の社会的行動を理屈抜きで見よう見まねながら模倣を通して社会性の関係の発達が加速していきます。

このように認識・関係のそれぞれの発達の加速が「知恵づき」と呼ばれています。

次回 12月号「2歳の子育て～しつけ～」

10月のあかちゃんクラブ



ミニ講話「こどもの食事とおやつ」
栄養士の北館ともこさんがお話し
していただきました。



今回は11/20(水)

仁科センターにて

佐野あゆみさんが食事・栄養につ
いてお話ししていただきます。

トトロの寝相アートもお楽しみに♡



11月のお知らせ(仁科・田子共通)

仁科 避難訓練(今月の訓練はシークレットで行います。)

18日(月) センター会議のため、午後は閉所します

20日(水) あかちゃんクラブ(仁科支援センター)

10:00～11:00

21日(木) 田子 防災ダック・起震車体験

29日(金) 田子 避難訓練予定



23日(土)
祝日のため、
閉所となります。

土曜開所日

◎ 9日・8:30～11:30
仁科支援センターにて

☆センターを利用する時には、体調等様子を見て、熱・風邪症状が見られないようでしたら利用してください。

☆西伊豆町内に気象に関する各警報(波浪警報は除く)が発令された場合、センターは1日閉所となります。途中で解除されてもセンターはお休みとなります。